

- 開館時間 9:00～17:15 (入館は16:45まで)
- 休館日 月曜日(祝日・振替休日はその翌日)、年末年始(12月28日～1月4日)
 - ◆プラネタリウム臨時休演 1月31日(火)～2月1日(水)
 - ◆全天周映画臨時休演 1月31日(火)～2月1日(水)

●入場料

区分 / 金額	個人	団体 (20人以上)
科学展示室	おとな	400円
	こども (小・中学生、高校生)	100円
プラネタリウム	おとな	400円
	こども (小・中学生、高校生)	200円
全天周映画	おとな	400円
	こども (小・中学生、高校生)	200円
プラネタリウム + 全天周映画	おとな	600円
	こども (小・中学生、高校生)	300円

※幼児は無料(ただし大人の保護者同伴のこと)

●宇宙劇場投映開始時刻

曜日/時刻	10:30	11:40	12:50	14:00	15:10	16:20
土・日・祝 春・夏・冬休み	全天周映画	プラネタリウム	全天周映画	プラネタリウム	全天周映画	プラネタリウム
火～金	学習投映(団体予約優先) 10:00, 11:10, 13:10				全天周映画	プラネタリウム

- ◆定員210名、各回入れ替え制。投映中の入退場はご遠慮ください。
- ◆学習投映は(学校)団体予約優先の投映です。団体でご利用の場合は、あらかじめお電話にてご予約ください。

【宇宙劇場】

ドーム直径21m、床傾斜25度、210座席。
プラネタリウムと全天周映画の設備を併せ持つ、
中国地方でも最大級の科学シアターです。



宇宙劇場 ★ プラネタリウム

PLANETARIUM

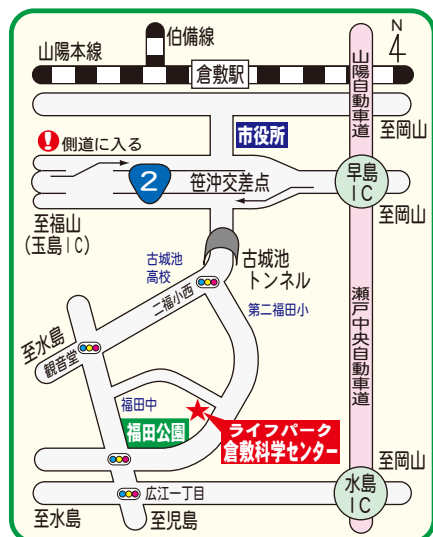
投映の話題(今夜の星空解説含む)

さよならスペースシャトル ～有翼宇宙船30年の軌跡～

VOL.56 2011. 11. 12 ～ 2012. 4. 30

ACCESS

- ◆JR倉敷駅からタクシー 25分
- ◆JR倉敷駅からバス 25分
 - 下電バス
 - ・『大高経由JR児島駅行』
 - 福田中学校前下車・徒歩20分
- ◆国道2号線 笹沖交差点から車で15分
(古城池トンネルを抜けて最初の信号を左折)
- ◆瀬戸中央自動車道 水島ICから車で10分
(広江一丁目交差点を右折後、最初の信号を右折)



倉敷科学センター

〒712-8046 倉敷市福田町古新田940 ライフパーク倉敷内
TEL (086) 454-0300 / FAX (086) 454-0304
<http://www2.city.kurashiki.okayama.jp/lifepark/ksc/>

KURASHIKI SCIENCE CENTER
倉敷科学センター

「今夜の星空」の解説

天文学の専門家による星空生解説。その日に見える星空をご紹介しますので、台本は一切なし。星空に合わせて話題も毎日変わります。

星座のさがし方から、おすすめ天文現象まで、ドームの下での星空散歩をお楽しみください。

プラネタリウムの解説台より

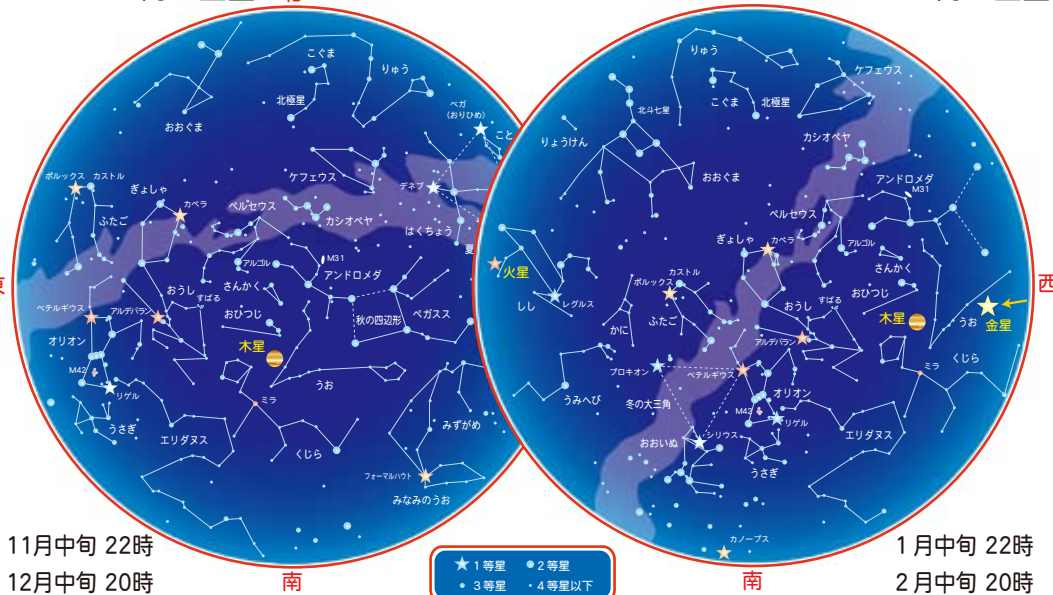


11-12月の星空

北

1-2月の星空

北



11月中旬 22時

12月中旬 20時

1月中旬 22時

2月中旬 20時

観測ガイド

12月10～11日 = 始まりから終わりまで全過程を見ることができる皆既月食。

見え方：月食の始まり21:45/皆既の始まり23:05/皆既の終わり23:58/月食の終わり1:18

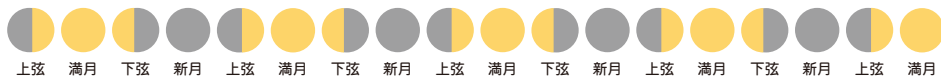
12月14,15日ごろ = ふたご座流星群の活動がピークを迎える。

1月 4日ごろ = しぶんぎ座流星群の活動がピークを迎える。

3月 6日 = 火星が地球に最接近。地球からの距離は1億78万km。

月の満ち欠け

11/3 11/11 11/19 11/25 12/2 12/10 12/18 12/25 1/1 1/9 1/16 1/23 1/31 2/8 2/15 2/22 3/1 3/8



さよならスペースシャトル ～有翼宇宙船30年の軌跡～

上映期間 / 11月12日(土)～4月30日(月)

1981年の初飛行以来、世界初の再使用型宇宙機として宇宙輸送の最前線で活躍を続け、宇宙飛行に対する世界の人々の認識を大きく変えた「スペースシャトル」。2011年7月の「アトランティス」の飛行をもって、通算打ち上げ135回、30年にわたる運用を終了しました。旧ソ連が世界



打ち上げを待つ「エンデバー」



ロボットアームを用いた船外活動

初の有人宇宙飛行に成功したのが1961年。スペースシャトルは、有人宇宙飛行の歴史の半分以上を担ってきたことになります。



ハッブル宇宙望遠鏡の放出



ロシアの宇宙ステーション「ミール」とドッキング

この番組では、宇宙飛行士をはじめ飛行を見守ってきた人々の想いを交えながら、宇宙開発の歴史に大きな功績を残したスペースシャトルの軌跡を感動的に描きます。

語り・朗読 桑島 法子

企画・制作 (株)五藤光学研究所